



むかわ町学校給食センター
 鶴川学校給食センター
 42-2211
 穂別学校給食センター
 45-2888

新学期の給食が始まって1ヶ月がたちました。みなさん新しい学年にも慣れ、給食の時間を楽しみにしてきているようですね。さて、成長期にあるみなさんにとって、「朝ごはん」は元気に1日をスタートさせるうえでとても大切な食事です。「主食」「主菜」「副菜」をそろえて食べるなど、内容にも気をつけ、しっかり食べてから登校しましょう。

朝ごはんをしっかり食べると...

さえわたる頭脳!



脳を働かせるエネルギーとなり、勉強によく集中できます。

体に元気をチャージ!



元気に体を動かせます。集中力も高まり、けがの予防につながります。

心もウオームアップ!



生活リズムが整い、食卓を囲んで1日を明るくスタートできます。

朝ごはんプラス! くだものと牛乳・乳製品

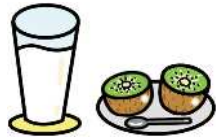
くだものと牛乳・乳製品のよさ

フレッシュな栄養素がとれる!



ビタミンには熱に弱いものや水に溶けて流れてしまいがちのものがあります。生で食べられるくだものは、そうした栄養素をむだなくとることができます。

とても手軽で簡単に食べられる!



くだものは、「皮をむく」「半分を切る」などですぐ食べられます。そして牛乳やチーズ、ヨーグルトも特別な調理は要らず、気軽に食べることができます。

腸を元気にしてくれる!



くだものには食物繊維が多く、ヨーグルトなどの発酵食品には腸内環境を整える善玉菌があります。どちらも腸を元気にしてくれる強い味方です。



5月5日は、男の子の健やかな成長と幸せを願ってお祝いをする「端午の節句」です。鯉のぼりや武者人形を飾り、菖蒲の葉や根を入れた「菖蒲湯」につかって邪気を払います。そして、「かしわもち」や「ちまき」などのお菓子を食べる風習があります。



かしわもち



カシワの葉で、あん入りのもちをくるんだもの。カシワはブナ科の落葉樹で、新しい芽が出るまで古い葉が落ちないことから、「家系が絶えない」という縁起を担いで使われます。カシワがあまりない地域では、サルトリイバラの葉が使われることもあります。



ちまき



チガヤや笹の葉などで、もち米やもち菓子などを包んで蒸したものです。全国各地で葉の種類や形の異なる、さまざまなちまきが作られています。最近では、五目おこわを包んだ「中華ちまき」が食べられることもありますが、日本で古くから食べられてきたちまきとは異なります。



5月5日は、国民の祝日「こどもの日」でもあります。こどもの日は、男女関係なく「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」日とされています。



5月7日は端午の節句メニューで、かしわもちがつきます。お楽しみに★



むかわ町の給食について

むかわ町の給食は、鶴川学校給食センターと穂別学校給食センターの栄養教諭2名で考えています。

4・6・9・11・1・3月は、穂別学校給食センターが

5・7・8・10・12・2月は、鶴川学校給食センターが担当です。

また、今年度より材料費の関係により、木曜日の麺を隔週とさせていただきます。ご理解ご協力よろしくお願いいたします。

今年度も安心しておいしい給食を児童・生徒のみなさんに提供していきます。

1年間どうぞよろしく願い致します。

鶴川学校給食センター 岡部 菜々未
 穂別学校給食センター 藤井 愛夏



